



フリーパネル®

次世代工法

特許
登録済

住宅100年 基礎も100年

いつまでも美しくきれいな基礎巾木を実現し、
さらに基礎の長寿命化も実現します！

基礎FシートII

後貼 シリーズ

vol.4

基礎のデザインをより美しく、
防水ラッピングで水の浸入を防ぐ

美観の向上

クラック防止

防
水

コンクリート中性化抑制

断熱材劣化防止

STONEホワイト

STONEグレー

パールブラック

パールグレー

パールホワイト

高さ

47×470cm

54×540cm

62×620cm

◎長尺タイプ最大 10m/ 枚

◎短尺タイプ 3m×3 枚、12 枚、16 枚

(後貼シート購入時プレミアムマスキングテープが付いています)

株式会社 フリーパネル

基礎FシートⅡ 巾木対策

10のポイント



ポイント

1

基礎のクレーム対策

クラック・白華・吸い上げのクレームはビルダー様で多くのお悩みを抱えています。
Fシートで基礎と巾木を一体化させ、シートで覆うことで基礎のクレームを削減します。



ポイント

2

浸水対策

基礎の打ち継ぎ部分の浸水は、鉄筋を腐食させ、基礎の劣化につながります。
Fシートで覆うことで打ち継ぎ部から水の浸入を防ぎ、劣化の進行を妨げ**基礎の長寿命化**を可能にします。



ポイント

3

コンクリート中性化対策

Fシートで覆うことで湿潤膜養生になる為、空洞化を削減し緻密なコンクリートを形成します。
さらに外部からの水や二酸化炭素を遮断し、コンクリート中性化を抑制させます。



シート無し



Fシート

無色部分は中性化しています。

ポイント

4

外断熱材劣化対策

外断熱基礎の巾木は従来のモルタル仕上げに比べ、**収縮や剥離によるヘアークラックの発生、白華現象**などリスクも伴います。

Fシートは、日差しによる紫外線劣化を防ぎ、収縮による断熱材の動きに追従する為、クレームリスクを大幅に軽減させる効果があります。



ポイント

5

職人不足解消対策

近年、左官職人さんの不足による工程の遅れが問題となっています。
Fシートの施工は、左官屋さん以外にも、内装屋（クロス屋）や外構屋など、業種を問わずも施工可能です。
(現場指導の際は弊社営業担当へお気軽にお問い合わせ下さい。)

ポイント

6

仕上げの一律安定化対策

従来の巾木仕上げは施工業者様により色ムラ・塗りムラなど、技量により様々です。
Fシートは、工場生産により均一化された商品です。見た目の美観はどなたが施工しても同一で、邸別ごとに差がでることはありません。



ポイント

7

補修のメンテナンス ローコスト化対策

従来のモルタル仕上げの補修は、補修部分に跡が残リ、補修面全体のやり直しや度々の補修など、多くの時間とコストがかかるリスクがあります。
Fシートは、平滑にされた補修部分に専用タッチアップ剤を施せば、元通りになりメンテナンスのローコスト化を実現させます。



ポイント

8

工程円滑化対策 (住設機器設置の遅れ解消)

従来は、住設機器の設置前に、巾木仕上げをしますが、職人さん不足により作業の遅れが発生し住設機器の設置が遅れ工程に影響されます。
Fシート（後貼）は、上棟前あるいは足場解体直後に施工が可能で、工程の遅れを最小限にとどめます。

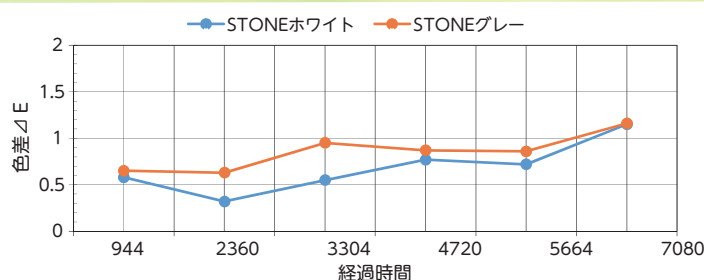
ポイント

9

美観対策

Fシートは耐候剤が混入されており、色褪せはほとんどございません。

試験機：7.5kW スーパーキセノン
ウェザーメーター



7080 時間後、
塗膜に割れ、
膨れ異常なし

ポイント

10

他社との差別化対策

従来の仕上げと比較し、性能向上、メンテナンスのローコスト化、美観向上など他社との差別化を明確に発揮できます。



基礎と巾木を一体化させる美装弾性シート

特徴

- ①Fシートは基礎巾木を御影調・モダンに仕上げられるシートです。
- ②シートの裏面には粘着シールになっており基礎に直接貼るだけの簡単施工。
- ③Fシートは5層になっており、厚みは1mmにも満たない薄くて強靱な透湿防水シートです。

1 シートについて

〔標準仕様〕

- ・材質：ポリプロピレン（耐候剤入り）
- シート幅：470mm・540mm・620mm
- 模様（塗料塗り部）幅：470mm・540mm・620mm
- ・深基礎仕様も対応可能です。（シートの段積み）

2 粘着性能について

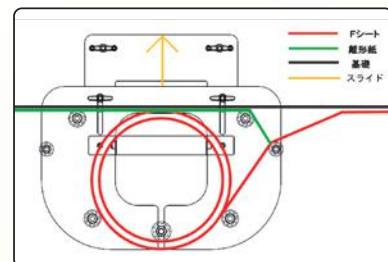
屋外環境に適した強力粘着シートです。
一度貼り付けたら、水に浸ってもはがれてくる事はありません。また、断熱材への貼り付けにも対応しております。
施工作业員2人にて、3時間程度で貼り付け作業完了します。
（建築面積約30坪 外周延長35m）



3 後貼貼付補助具のご紹介

〔1人施工可能〕

各種470H用・540H用・620H用

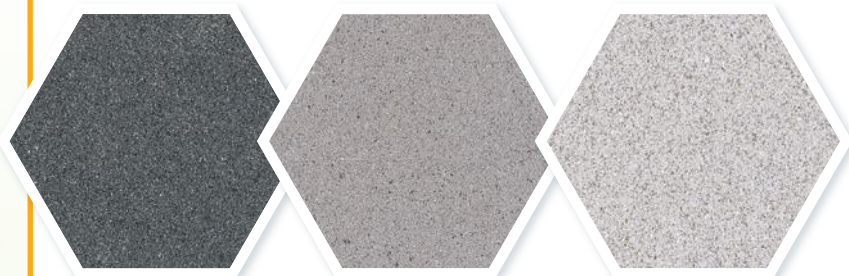


シート取出し方法

※基礎幅に合わせてスライド機能が付いています。

外壁色に合わせたカラーバリエーション

モダンな新色

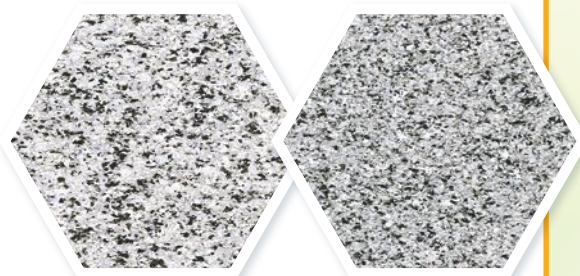


パールブラック

パールグレー

パールホワイト

高級感ある石目調



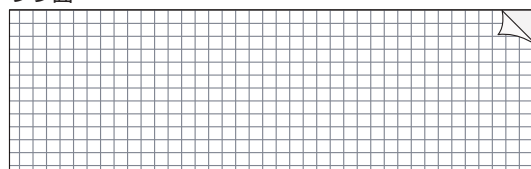
STONEホワイト

STONEグレー



470mm
540mm
620mm

ウラ面



方眼セパレーターで、細部の加工が簡単です。

こんなビルダー様に採用されています。

- ①基礎のヘアークラック・水の吸い上げ・白華現象などのクレームが無くなる。
- ②仕上げの塗りムラ・色ムラ・シミなどが無い。経年による変化が無い。
- ③基礎の寿命は鉄筋の腐食によるコンクリートの崩壊が原因で、水や二酸化炭素の浸入をシート工法でラッピングし、長寿命な基礎を目指したい。
- ④基礎も外壁の一部であり、基礎に対しても同等なクオリティを保ちたい。
- ⑤中長期的に職人不足の懸念があり、シート工法への代用も視野にいたい。
- ⑥外的損傷で補修が必要になった場合のメンテナンスコストが安い。
- ⑦外構との景観に調和し、高級感が増す。



**シートを断熱材に直接貼ることで
経年劣化を抑制する事が出来ます。** ➡

詳しくはP5断熱材紫外線劣化ページをご覧ください

特性評価

耐候性試験曝露試験（光源：キセノンランプ）

- ・貼付け温度：23℃
- ・被着体：コンクリート板・スタイロフォーム
- ・照射強度：180W/m²
- ・サイクル：60分中12分 水スプレー
- ・槽内温度：28℃設定
- ・温度：50℃（但し、水スプレー時は温度制御なし）
- ・曝露時間：1,000h（屋外曝露774日相当※1）

※日本における紫外線領域300～400nm（水平面）での年間放射線露光量を306MJ/m²とした場合



写真1 モルタル_耐候性試験1,000h 曝露後

特性評価結果

耐候性試験曝露試験の結果を表1、写真1・2に示します。

- ・試験の結果、いずれの被着体におきましても耐候性試験曝露1,000hにてテープの浮き、剥がれの発生は確認されませんでした。

表1.耐候性試験曝露試験結果

耐候性試験 曝露時間	屋外曝露 相当日数	被写体	Fシート
1,000 (h)	774 (日)	スタイロフォーム	浮き、剥がれ等なし
		コンクリート板	浮き、剥がれ等なし

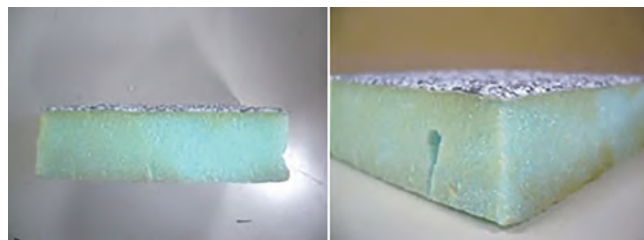


写真2 スタイロフォーム_耐候性試験1,000h 曝露後

耐候性試験（スーパーキセノンウェザーメーター）

試験時間	外 観
7080時間	異常なし



試験前



7080H後

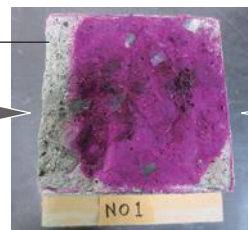
中性化抑制試験

約25年相当

[材齢8週]

コンクリート

NSP Fシート



25.6年相当の実験で中性深さがコンクリート剥き出し面：15.6mm
NSP Fシート設置面：3.3mmでした。

※フェノールフタレイン液は、アルカリ検出の指示薬
無色透明の液ですが、アルカリ性に反応して紫色に変化します。

外断熱基礎仕上げ

断熱材の紫外線劣化



基礎の長寿命化

断熱材は紫外線に弱い為、放置しておくと表面が劣化し、断熱性能に大きな劣化が懸念されます。
Fシートは、工事期間中の紫外線を遮断し、無垢な状態を保つことで断熱材の性能の維持に効果を発揮します。

また、Fシートは透湿防水シートなので湿気を透し、水の浸入を防ぎます。よって、水による断熱性やカビなども発生しにくくなり、美観の維持を保ちます。

モルタルの剥離・水の吸い上げ・ヘアークラック・白華



断熱材とモルタルの隙間に水を吸い上げると、剥離やクラックの原因になります。



剥離のため、滑落する場合や断熱材は気温変化により収縮しやすく下地を動かしやすい為、クラックの発生も懸念されます。



高圧洗浄



高圧洗浄可能。



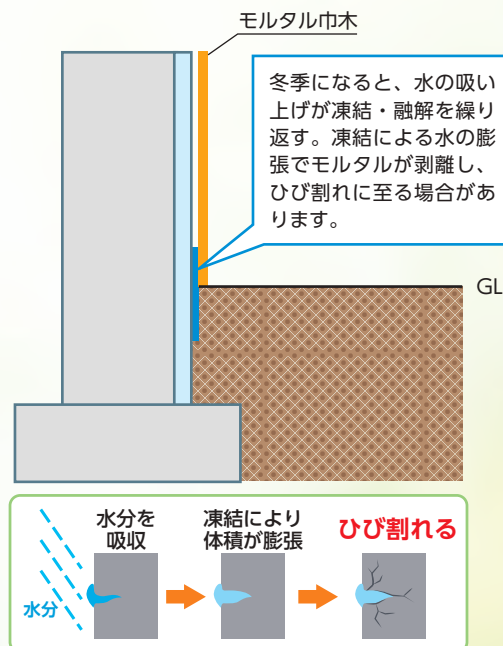
モルタルの水分量や環境の影響で、白華現象がおきます。
一度発生したら元に戻らない為、再度補修をしなければなりません。

モルタルの凍害



断熱材よりモルタルの方が水の吸水率が高いので、保湿状態になりやすい。

断熱材は吸水率が低いので、水分はモルタル層へ集中します。
冬季の場合、基礎巾木部分は積雪に覆われ、凍結・融解を繰り返します。
発生後の対応・対処方法の確立が重要で、大きなリスク・トラブルに発展するケースもあるようです。



工程の円滑（乾式工法 冬季施工可能）

断熱材は直射日光に長時間さらすと、表面から変色・劣化し、モルタル接着不良や厚みの減少（やせ）の原因になり、本来の性能を損なう恐れがあるため、脱枠直後埋め戻し前が理想的です。
また、乾式工法で水は不要な為、冬季の施工も凍結による施工不良も抑えられます。

型枠脱型

埋め戻し前

施工

乾式施工・冬季施工可能で、職人不足や下地劣化によるやり直しなど、工期の遅れを最小限にとどめます。

アフター補修費のローコスト化



補修跡が目立たず、軽作業で完了します。

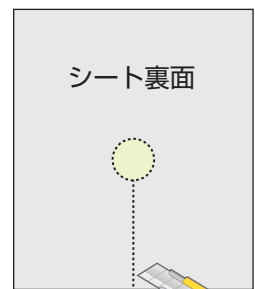
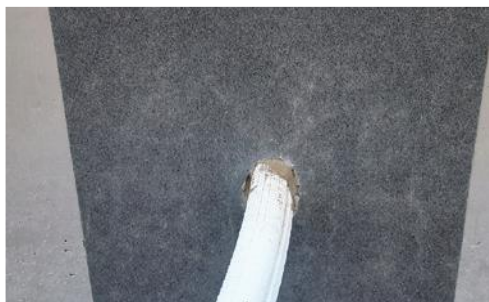
仕上がり安定化



職人様により仕上げに差がでることはありません。Fシートは工場生産による安定した美観を保ちます。

その他施工

◆ 配管貼付施工



カッター・はさみで
切り込む

◆ コーキング施工



土間打ち後貼り付けた場合は、端部にコーキングを施して下さい。

◆ 深基礎



◆ 玄関ポーチ施工（Fシート後貼 玄関用）



① 玄関サッシ両側は、従来通りモルタルで埋戻し、平らにしておきます。

② 硬化したら、コーナーごとに寸法をとり、カットしてからFシート後貼玄関用を貼ってください。

③ 完成です。
継ぎ目が気になるようであれば、タッチアップ材（別売）もごさいます。



H124xW600 ※玄関ポーチ部分に使用してください。

縁切り施工での注意点

**Fシート設置後、後から土間に生コンを打つ際は
貫き板又は柔軟性のある伸縮目地材を必ずいれてください。**

◆ 貫き板施工

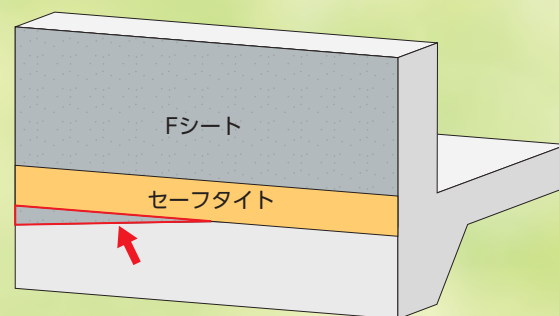


◆ セーフタイト施工



※写真はセーフタイトM

**伸縮目地材を入れない場合、
Fシートが引っ張られて下記のようになります。**



伸縮目地材よりはみ出した部分(赤線部分)がありましたら必ずカッターなどで縁を切ってください。

流行りの外壁色に合わせ、 モダンな3色新登場!!

今人気の外壁が黒の新築戸建てに合わせて、
黒系Fシートで基礎のデザインをよりスタイリッシュに
仕上げる事ができるようになりました。



カラーバリエーション



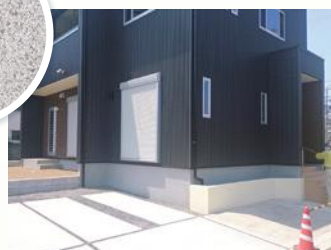
パールブラック



パールグレー



パールホワイト



基礎もスタイリッシュに!

コンクリート色(グレー)が当たり前だった基礎も外壁に合わせ、こだわった
マイホームにブラッシュアップできます。



モルタル刷毛引き
仕上げ



Fシートパール
ブラック仕上げ



Fシートは景観だけではなく基礎の劣化を防ぎ長寿命化にも効果を発揮します。
汚れも付きにくく、付いても高圧洗浄機等で簡単に落とせます。

Befour ▶ After



基礎FシートⅡで基礎をリノベーション 基礎もリフォームしてみませんか？



今お住いの住宅基礎にもFシートを貼る事ができます。

外壁の塗装や貼り替え時に基礎も一緒にリフォームしてはいかがでしょうか？

Fシートは景観が良くなるだけではなく、住宅の土台でもある基礎を経年劣化から守り、新たな機能を備えリノベーションします。

流行色外壁のリフォームに合わせて、基礎もブラッシュアップ！



昨今の流行色でもあるブラックなどの外壁色に合わせて、Fシートは基礎もブラックにブラッシュアップする事ができます。

基礎Fシートは基礎コンクリートを経年劣化から守り、見た目の高級感も向上します。



新築・リフォームで基礎Fシートを貼る前に 下地処理を行いましょう！

Fシートを貼る際により綺麗に仕上げ、効果を発揮させるためにも
下地処理を必ず行って下さい。

下地処理の流れ

下地の洗浄

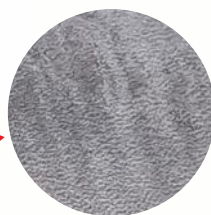


下地（既存コンクリート）のコケや泥などの汚れを洗浄してください。

下地の補修



モルタル刷毛引き
表面



- ・型枠ジョイント段差・打ち継ぎ段差を平滑に均して下さい。
- ・モルタル刷毛引きで仕上げたコンクリート表面は細かい凹凸があります。接着力を高めるために、コンクリート表面補修材等で平坦にします。
- ・コテ不要の地へラのみで左官塗りのように仕上げられる補修材もあります。

接着剤塗布



表面補修材が乾いたら、シーラーをムラなくFシートを貼る面に塗布します。
シーラーはしっかり乾いてから、Fシートを貼ってください。

あとはFシートを貼るだけです。
Fシートの貼り方は「Fシート施工要領書」をご覧ください。

before

after

◆ 上棟前 施工



◆ 上棟後 施工



施工の流れ 後貼



① 枠をばらします。
表面の段差、不陸を確認します。



② 型枠段差はスクレーパーやグラインダーで平滑に削るなど、モルタルで平滑に均します。



③ 泥や埃などは綺麗に落としてください。



④ 平滑に補修



⑤ 断熱材も同様に段差・穴補修



⑥ 水性シーラー塗布後、完全に乾いたことを確認してください。



⑦ 任意の始点から、基礎天端に合わせてシートを貼っていきます。



⑧ ジョイント部は端の離形紙のみを剥がして貼ります。



⑨ 継ぎ目に合わせて貼ってください。
下地が断熱材の場合は、重ねて貼ってください。



⑩ 離形紙が破れないよう水平にめくりま
す。別売で一人施工可能な後貼貼付補助
具もございます。(P1を参照)



⑪ 端を貼り合わせたら、基礎側面に沿っ
て、ヘラを使ってさらに離形紙を剥がし
ていきます。



⑫ 繰り返して1枚づつ同じ作業を行ってくだ
さい。



⑬最後に残っている空气がないか確認する為、ローラーでしごきます。



⑭完成



⑮配管穴部はカッターでくり抜いてください。



⑯深基礎は左官し平らにします。



⑰2段貼りします。

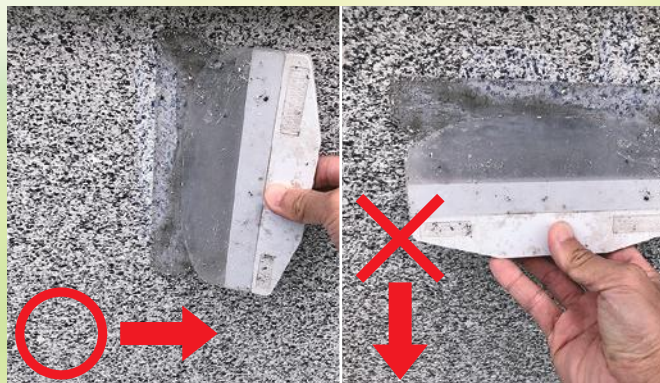


⑱上下は重ねず、トン付けで貼ります。

メンテナンス



①ジョイント部分に同じ塗料のタッチアップ材(裏表紙参照)を塗布します。塗布する際は、スムーディーを使用します。



②塗料を塗布する際、横方向に流しながら塗料を塗布します。
※縦方向は模様が変わってしまいます。



③塗料が乾いたらプレミアムマスキータープで養生をします。



④養生を下げ、掘った下端を埋戻し、作業完了となります。

必要な部材

エヌエスピー販売品

シーラー



塗料



後貼貼付補助具 地中アンダーテープ



スムーディー



プレミアムマスキータープ

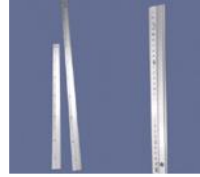


フィニッシュタッチミニ



市販購入

定規



カッター



ハサミ



ローラー



スクレーパー

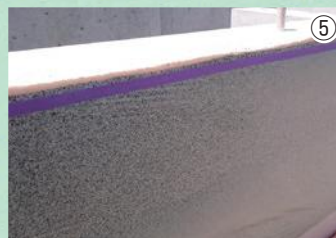


スモーター



基礎FシートⅡ後貼施工時注意点

- ①雨、雪の場合は施工をしないで下さい。下地が完全に乾いた状態で施工を行って下さい。
- ②5℃以下時での施工は粘着剤が固まり粘着不良をおこす場合がありますので、施工を避けてください。
- ③断熱に剥離剤が付着しない様、型枠と断熱材の間に養生シートを挟んで施工して下さい。
- ④貼り始めのレベルを慎重に行い、シートの貼り直しは極力避けて下さい。
※シート粘着部分が損なわれ、下地に塗布したシーラーも失われてしまいます。
- ⑤マスキータープは不織布(紫色)の物を使用して下さい。
※布マスキータープ(緑色)は粘着部分が塗料を剥がしてしまう恐れがあります。
- ⑥断熱材施工時は脱枠直後に施工を行って下さい。
※断熱材の経年劣化を抑制する事が出来ます。
- ⑦アスファルトを敷く際は直接火を当てないで下さい。
※断熱材やシートに不具合が生じる恐れがある為、当て板を当てて下さい。
- ⑧土間を打設する際、シートと生コンが接触する部分を縁切りして下さい。
※生コンの圧力でシートが引っ張られ、膨れる恐れがあります。
- ⑧-2 ガレージ施工の際、直接シートにコンクリートを当てないで下さい。



※このカタログに掲載された仕様は、改良のため予告なく変更することがあります。
※掲載商品の色調は印刷上、実物と多少の違いが生じる場合があります。

株式会社 フリーパネル®

- 本社 (第一営業課・第二営業課)
〒363-0008 埼玉県桶川市坂田539-3
TEL 048-728-0121 FAX 048-728-0181 info@freepanel.co.jp
- 本社 第三営業課(仙台)
〒982-0251 宮城県仙台市太白区茂庭字中ノ瀬東24-10
TEL 022-281-3366 FAX 022-281-3396
- 本社 第三営業課(新潟)
〒949-7135 新潟県南魚沼市新堀新田629-117
TEL 025-775-2911 FAX 025-775-3637
- 本社 第三営業課(北陸)
〒920-8205 石川県金沢市大友1丁目15 村井倉庫No.3
TEL 090-8817-7553 FAX 050-3134-7647
- 本社 第三営業課(名古屋)
〒486-0817 愛知県春日井市東野町5-27-11
TEL 0568-89-1331 FAX 0568-89-1335
- 本社 第三営業課(関西)
〒611-0021 京都府宇治市宇治野神83-4
TEL 090-8688-1643 FAX 050-3142-3061

<https://www.freepanel.co.jp>

※このカタログに掲載された商品は、改良の為、仕様・外觀等を
予告なく変更することがあります。

お問い合わせは

